

令和4年度 実施事業の概要

教育事業名：キッズアドベンチャー深雪探険

期間 令和5年1月21日(土)

対象及び参加人数：4、5歳児の幼児とその家族 10家族34名

目的：幼児の自然体験の機会、社会性の育成

子育て支援

絵本専門士との協働

学生ボランティアスタッフの資質向上

事業概要：

- ・子供たちの健やかな成長にとって体験の大切さを伝え、自然体験、社会体験、生活体験の機会を提供する。
- ・豊かな妙高の自然の中、親子で日常にはないチャレンジする場を提供する。
- ・絵本専門士との協働により、読書活動などに親しむとともに、絵本の世界から広がる出来事が現実世界の体験とつながる時間を味わう。

成果：

冬の自然体験を呼び掛けた幼児を含む親子を対象とした事業に、県内外(新潟県・長野県・群馬県・千葉県)から10家族の参加があった。妙高青少年自然の家は「とびだせ！雪と緑の森探険」というキャッチフレーズのもと、雪を資源とした自然体験に取り組んでおり、本事業では「深雪探険」の活動をした。

前日の夜から20cmほど降り積もったフワフワした感触の新雪を踏みしめながら斜面登りをしたり、親子で協力して雪積みに挑戦したりした。また、スノーフラッグと称して雪野原を目標物めがけて走る活動では、参加の子供同士の交流の場となり、楽しく競い合っているようだった。どの活動も、子供たちはもちろん大人たちも本気で楽しむ姿を見ることができた。

午後からはクラフト活動として、塩を使って描いたものに絵の具を滲ませていくソルトペインティングの手法で、雪を連想させる白い絵に、次々と色が滲み合う様子を親子で楽しむことができた。森の素材(まつぼっくりや枝)を使ったモビールづくりでは、同じ素材を使った中で家族ごとに工夫を凝らして制作し、お土産として持ち帰った。



斜面登りは深雪探険の楽しみの一つ。膝まである新雪を踏みしめながらグングン登っていった。



親子で協力して雪積みをしたり、スノーフラッグで雪野原を走ったりして、雪の感触を全身で感じる事ができた。



ソルトペインティングでは、色の滲み方を楽しんだ。森の素材を使ったモビールづくりは、思いおもいの作品が出来上がった。



絵本コーナーを常設した。屋食後のフリータイムには、親子で手に取り楽しんでいる姿が見られた。

課題：

事前に会員登録した家族に対して参加募集をしているため、より広い効果的な広報を行い、会員登録数を増やす。